

地域別経済動向調査 ～地域金融機関から見た地域景況感～

<お天気マークの見方>












<方向感の見方>



地域	機関名	現在の景況感 (R6 1-3月期)				次期見通し (R6 4-6月期)	
		総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
道南	渡島信用金庫				新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、一部観光関連の業種に持ち直しの期待もあったが、人手不足による雇用問題、賃金問題及び原材料・燃料費等の高騰により、事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いていることから、「やや低調」と判断した。	→	新型コロナウイルス感染症が5類へ規制緩和され、人流の活性化に期待が持てるものの、各業種において人手不足、物価の高騰など、景況感が上昇傾向にあると判断する材料はまだ乏しいものと考えられる。
	道南うみ街信用金庫				今期の業況DIは概況で前期比27.6ポイント、前年同期比でも3.7ポイントの悪化となった。売上額の動きでは前期比22.9ポイントの減少、収益の動きでは前期比15.7ポイントの減少要因となっている。物価高から購買意欲が低下し消費の伸び悩みが窺われる。建築業では冬期間による受注残高及び施工高が減少、製造業（殊に水産加工業）は冬期間の休業先が多い状況となっている。また、人手不足については、前期より若干の緩和とはなったものの、依然として人手不足感が強い状況が続いている。従って前期の「やや低調」から「低調」と判断した。	→	次期の景況見通しは、概況で22.9ポイントの良化予想となった。売上額の動きで30.3ポイント、収益の動きで27.7ポイント、受注残高では49.0ポイントの良化予想となった。仕入価格（原材料価格）の動きで4.8ポイントの下降予想、春の行楽シーズンやインバウンド等の入込増加の期待もあり、今期の「低調」から「上昇傾向」と判断した。
道央	北海道信用金庫				今期の景気動向調査では、サービス業で「やや好調」となったが、建設業・不動産業で「普通」、製造業・卸売業・小売業で「やや低調」となり、全体の業況判断DIが2.3となっていることから「普通」と判断した。	→	次期の業況見通しは、卸売業・建設業・不動産業で「やや好調」となったが、製造業・小売業・サービス業で「普通」となり、全体の業況判断DIが9.9の「普通」となっていることから、現在の景況感「普通」から変わらないと判断した。
	空知信用金庫				今期の業況DIは、△17.8と前期より15.6ポイント下降し、業種別に見ると農業と不動産業で横ばいと、この2業種以外の6業種で悪化となった。売上額DI値は2.1と前期比4.8ポイント悪化となり、卸売業、サービス業、建設業及び農業で改善、不動産業が横ばい、それ以外の業種は下降となった。収益DI値は△11.4と前期比3.4ポイント下降し、卸売業、建設業、農業以外の業種は横ばい又は下降している。	→	次期の予想業況DIは△2.1と前期比15.7ポイントの改善が見込まれる。業種別では、運輸業で横ばいの見通しとする以外、7業種が改善を見込んでいる。また、主要指標は、前年同期比で悪化傾向にあり、依然として、物価や人件費の高騰、人手不足等で先行き不安感を反映したものと思われる。
	北空知信用金庫				当金庫の景気動向調査によると、建設業（土木請負）とサービス業（その他）は改善がみられるが、前期改善したサービス業（自動車修理販売関連）は悪化し、製造業、建設業（建築請負）、卸・小売業では依然として後退感が強い。また円安は、米国の利下げ観測が強まっていたが、インフレ再燃懸念から利下げ見直しの可能性もあり、原材料・エネルギーコストの高騰が続いている収益性への影響から、経済活動への積極性や活性化に至っていない。そのため総合景況感は前期調査同様の「低調」と判断した。	→	サービス業（その他）のみ悪化が見込まれる中、その他の業種は改善又は横ばいと見込んでいる。全体的なDIも16.6ポイント改善する見通しであることから「上昇傾向」と判断した。
	北門信用金庫				売上額判断DI及び収益判断DIが下降し、業況判断DIも低下したことから業況としては「低調」と判断した。製造業で業況が悪化しており、生産動向については「低調」と判断した。消費動向については、サービス業で改善しているが、小売業で悪化しており「やや低調」と判断した。	→	売上額・収益判断DIが改善する見通しであり、業況は前期より小幅ではあるが上昇する見通し。生産動向は製造業で業況が改善、消費動向については小売業・サービス業は変わらない見通し。
	伊達信用金庫				サービス業は、インバウンドが堅調な推移となっており、業況は回復傾向にある。製造業は原材料、光熱費など物価高騰による経営への影響が続いている。建設業は、春先立ち上がりの遅れから、公共、民間工事の受注量が減少傾向、不動産業は例年並みの仲介、管理料を得ており、全体として前期と大きな変化はないことから「普通」と判断した。	→	業況回復の兆しは見られるが、原材料高騰による収益性圧迫はまだ続く見通しであることから、現時点では「変わらない」と判断した。
	苫小牧信用金庫				今期の景気動向調査によると、業況判断指数は「良い」とする企業10.0%に対して、「悪い」とする企業は46.4%、DIは前期から21.6ポイント後退し「△36.4」。不動産業を除くすべての業種で前期比後退となった。前期調査時における次期景況見通しとほぼ同様の結果であるが、後退幅が大きいことから景況感の総合評価は前期の「やや低調」から「低調」と判断した。また、生産動向・消費動向についても、同様の理由から、前期の「やや低調」から「低調」と判断した。	→	同調査によると、次期については「良い」とする企業18.6%に対して、「悪い」とする企業は27.3%、DIは「△8.7」となった。今期実績に比べ27.7ポイント改善の見通しとなった。前年同期と比較しても改善幅が大きいことから「上昇傾向」と判断した。

地域	機関名	現在の景況感(R6 1-3月期)				次期見通し(R6 4-6月期)	
		総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
道央	室蘭信用金庫				総合のDIは△11となり前期より18ポイントの下降となることから「やや低調」と判断した。生産動向については、卸売業以外が下降し△6となり「やや低調」と判断した。消費動向についてもDIは前期よりマイナス水準へ転じ「やや低調」と判断した。	→	全業種のDIはマイナス水準見通しであるが全体のDIは2ポイントの上昇。消費動向では上昇傾向、業種別ではサービス業がプラス水準まで上昇見通しであり「変わらない」と判断した。物価、原材料高騰や人手不足、売上の停滞感等、地域経済の業況への影響から厳しい業況が続くことを予想している。
	日高信用金庫				今期の業況DIは△31.1と、前期比14.1ポイント下降した。DIは全企業で下降しており「低調」、製造業では秋サケの不漁等で原材料不足により「低調」で、消費動向についても物価高の影響で「低調」と判断した。業種別の業況判断DIは、製造業△25.7(前期△11.4)、建設業△37.5(同△17.1)、卸売業△50.0(同△12.5)、小売業△33.3(同△25.0)、サービス業△20.0(同9.9)となっている。	→	来期の予想業況判断DIは△15.6と、前期実績比15.5ポイント上昇見通し。業種別に見ても卸売業を除く業種でポイント上昇又は同じであり「上昇傾向」と判断した。
道北	旭川信用金庫				人の動きもコロナ禍前に戻り景況感は回復傾向と回答する企業が多かったが、相次ぐ値上げの影響や2024年問題への懸念から、総合的には「普通」と判断した。	→	2024年問題への懸念から、今期と変わらない見通しと判断した。4月より始まることからまだどのような影響があるか判断ができず、今後の景況感は予想しにくいとの声も聞かれた。
	北星信用金庫				全体的に売上、業況は持ち直しの動きが続いているが、依然として資材高騰、物価高、燃料高、人手不足と様々な影響は続いており、総合的な景況感については前期同様、「普通」と判断した。	→	当面の間は資材高騰、物価高、燃料高、人手不足と様々な影響が続いていくものと考えられ「変わらない」と判断した。
	留萌信用金庫				景気動向調査による業況DIは、前期と比較して△12.4ポイントとやや低調であり前期同様「やや低調」と判断した。「やや低調」の要因は、業種別で見ると建設業の変化幅が16.0ポイントとやや改善しているものの、製造業が△47.5ポイント悪化、卸売・小売業、サービス・不動産業が△6.0ポイント～△13.1ポイントとやや低調であることから、総合的に見て前期同様「やや低調」と判断した。	→	景気動向調査による次期予想DIを見ると全業種が9.2ポイントとやや改善が予想され、業種別に見ても建設業の△31.3ポイント悪化の予想ではあるが、その他の業種で5.9ポイント～35.3ポイント改善の予想であることから「上昇傾向」と判断した。
	稚内信用金庫				当金庫で行っている景気動向調査によると、主営業地区が閑散期を迎える中、前年同期と比べて、建設業を除く全業種で売上額DI、収益DIの悪化が示され低調な状況である。以上の結果から、総合を「低調」、生産動向を「低調」、消費動向を「低調」と判断した。	→	同調査によると、業況DI(15.5)、受注額DI(25.0)、売上額DI(25.9)、収益DI(10.9)で盛業期に向かう中、経済正常化への期待が高く概ね改善傾向を示す一方、製造業ではやや警戒感がくすぶっている。以上より「上昇傾向」と判断した。
オホーツク	網走信用金庫				当金庫業況調査において、製造業のDIが△27.3、建設業のDIが△19.2であり、生産動向を「非常に低調」とした。消費動向について、サービス業のDIがプラスにて推移しているが、卸売・小売業のDIが△17.6であり、前期より数値が悪化しているため、「やや低調」と判断した。全業種においては、DIが△16.0であり、前期より悪化していることから前期の「普通」から「低調」と判断した。	→	当金庫業況調査の次期予想において、全業種のDIでは△7.1と直近と比較してやや改善の見通しではあるが、依然マイナスの数値を示していることから、前期同様「下降傾向」と判断した。
	遠軽信用金庫				遠軽地方における景気動向調査の結果、全業種の業況DIは△33.6と、前期調査(△11.8)から悪化する結果となった。慢性的な人手不足や仕入れ値の価格転嫁ができない等、前期に続き、厳しい状況が続いており、現在の景況感は前期調査時の「やや低調」から「低調」と判断した。生産動向・消費動向については、全ての業種において売上DI・収益DIが悪化する結果となり、前期調査時の「やや低調」から「低調」と判断した。	→	次期の景気見通しについては、全ての業種において売上DI・収益DIは改善される見通しであるものの、多くの企業で業況回復には時間を要することが予想されており、次期の景気見通しは「変わらない」と判断した。
	北見信用金庫(北見地区)				当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDIは、売上高が△20と6ポイントの悪化、収益も△24と6ポイントの悪化となっていることから、「低調」と判断した。	→	前期と比較した次期の見通しでは、売上DIは+7、収益DIは+2と改善の見通しとなっている。
	北見信用金庫(紋別地区)				基幹産業である水産関連企業が閑散期である為、水産加工業を中心に生産動向は「やや低調」に推移している。流水接岸による観光客については国内外からの観光客も徐々に戻ってきており、コロナ禍前には戻らないまでも消費動向は「普通」とし、経済活動の復調の兆しが見えていることから総合的に「普通」と判断した。	→	春先よりホタテ漁が開始となり、水産関連企業が稼働することから生産動向は上向きとなる。更に新型コロナウイルス感染症の5類移行により、経済活動も活発化してきていることから、「上昇傾向」と判断した。

地域	機関名	現在の景況感(R6 1-3月期)				次期見通し(R6 4-6月期)	
		総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
十勝	帯広 信用金庫				当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の今期の業況判断DIが、前期比改善したものの△15となったことから、「やや低調」と判断した。 生産面は、製造業の業況判断DIが大きく改善して±0となったことや、生乳生産量が持ち直してきたこと等から「普通」と判断した。 消費面は、同調査において小売業の業況判断DIが前期比悪化し△21となったこと等から、「やや低調」と判断した。	→	当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の次期の業況判断DI見通しが、△14と今期比ほぼ同水準であることから「変わらない」と判断した。
釧路	釧路 信用金庫				人手不足の影響が続いていることから、飲食業・宿泊業を中心に営業日数や営業時間の短縮などで苦慮する事業者が多いこと、コストの上昇に伴う価格転嫁が進んでいない事業者も依然としていることから、前期同様、「普通」と判断した。	→	人手不足の影響や物価高騰の影響が続くことが予想されること、消費面でも当地では賃上げが進んでいるとは言いがたく、当面は景況は「変わらない」と判断している。
根室	大地みらい 信用金庫				新型コロナウイルス感染症5類移行後は観光客の入込回復、行動自粛の緩和により消費回復につながっているが、物価高騰のなかで実質的賃金が変わっておらず消費動向について好調とは言いがたく、また当地域は1次産業主体であり、生産者においては漁業も酪農も厳しい経営環境が継続している。ALPS処理水の海洋放出に伴う風評被害、酪農では資材や飼料価格の高騰により情勢は楽観視できない状況が続いている。総合的には消費動向の回復よりも、生産動向の落ち込みが上回るため「やや低調」と判断した。	→	生産動向がしばらく厳しい状況となる見通しから、今期の景況感と「変わらない」と判断した。